DSTF第1回会合（テレカン）

日時：令和2年1月17日（金）9:30～11:00

■　参加者(順不同、敬称略)：

　富士通研究所（TFリーダー）：松倉

日立製作所：東村

Panasonic：川口

　慶應/W3C：芦村

　NRI：新町

事務局 総務省：稲森（記）

■　議事（※敬称略）

(1) W3C手続きについて

①今回の取り組みの狙いや方針について

今回のDSの取り組みは、

　①フォーラム標準のダウンストリームを行うことで国内の知名度UP

　②ダウンストリーム先としてITU-Tに取り組んいるTTCを使って、Webにあまり関係のない企業にWoTの関心をUPする、という２点を満たそうというもの。

インパクトを考慮すると、WoTのREC化後、迅速にTTC標準として出せるようにしたいという一方で，今後，TTCでは様々なダウンストリーム(日本語化)を進める模範例とするため、いい加減な内容とはしたくない。これを、皆さんの負担を勘案しつつ進めたい。「早く，いいものを」という矛盾したところがある。両立に向けて、皆様のお知恵をいただきながら落とし所を探らせていただきたい（稲森）

②翻訳着手上の手続きについて

　W3C文書の翻訳に関する一般的注意については、別途メールした、

翻訳ガイドライン:?https://www.w3.org/Consortium/Translation/　と

翻訳FAQ:?https://www.w3.org/Consortium/Legal/IPR-FAQ-20000620#translate

を参照してください（芦村）

　まずは、W3C側への翻訳申請を行う必要がある。

手続きの主体についてはW3C側への翻訳申請メールは，検討会主査として私から送付しても構わないが、「日本語翻訳の位置づけ」について，例えば(他のストーリーでも構いませんが)，「日本会員の皆さんを中心とする日本のWebコミュニティ有志がTTCと協力して日本語翻訳し，TTC標準として公開する予定」というようなストーリーについて，まず検討会レベルで合意形成の上，TTC側ともネゴる必要があろうかと思います。

なお，具体的な日本語化の際の注意点やスタイル例については:

　\* JIS X 8341-3原案 (WCAG 2.0 JIS原案):?https://waic.jp/docs/WCAG20/Overview.html

　\* JIS X 8341-3 (WCAG 2.0 JIS文書):?https://kikakurui.com/x8/X8341-3-2016-01.html

が参考になるかと思います。

なお，今一度，10年程前に関わったSVG Tiny 1.2:http://www.w3.org/TR/2008/REC-SVGTiny12-20081222/

のJIS翻訳:?https://kikakurui.com/x4/X4197-2012-01.html

についても確認してみましたが，個人的には，こちら(SVG Tiny 1.2)の方が，WCAG 2.0のJISよりも直訳に近く，わかりやすいように思います（芦村）

手続きの主体は誰がやるべきかについては、①TTCから出す②検討会から出すの２つが考えられるところ、芦村さんの提案は，「実質，検討会が主体で取り組んでいるので，検討会から出すのがよい」ということか（松倉）

そうです（芦村）

他に意見はないか？（松倉）

無い様なので、検討会から出す方針とする（松倉）

(2) TTC文書の位置づけ、進め方

　原本はW3CのREC文書でありTTC文書は参考文書の位置づけとなる。

　TTC文書には「参考」の章があるので，そこを利用してはどうかと考えている。

　文書作成ツールについては，TTC標準は通常Wordで作成しているので，Wordでやっていきたいがそれでよいか？（松倉）

　ツールにはこだわりは無い（芦村）

　ただ，レビューの吸収にあたって，「一旦，GitHub上のMDにする」等の可能性について，実際のレビュー経過も踏まえて議論したい（芦村）

　翻訳のレベル感や注意点等あるでしょうか（松倉）

　JISの場合は，「JIS向け」の用語がありますし，「W3C標準用語の定訳」も存在する（芦村）

　TTCの文書はこうあるべきというものはない、ベースはITUTのフォーマットそれを考慮しても、W3Cの構成は変えず、章立て等は変更したくありません（松倉）

　SVGの例では，章立ては変更されておらず，用語定義等，参考になると思います（芦村）

(3) スケジュール

　TTC標準の審議は3か月毎に実施。1、4、7、10月の中旬が審査申し込みの締め切り。2か月後に承認・発行。

　3月末までに翻訳を完了して4月初旬の委員会で承認を得たい。1か月前の3月3日の委員会で一通りの説明を終えて、コメントを得ておく状態にする必要がある。

　できれば4月の締め切りに間に合わせたいが、無理だった場合は7月がターゲットになる。

　英文と和文を比較してやることが理想だが、時間がかかりすぎる。そのため，一旦，私の方で第一稿を修正した上で，皆さんのレビュー対象としたい（松倉）

　そのやり方で，今までのTTCでのダウンストリーム翻訳の実績がある，と考えてよいですか（稲森）

　そうです（松倉）

　ただ，議論のポイントとして，「皆さんにどのくらい協力してもらうか」がキーになる

　原文との比較を事前にしておいていただけるとありがたい

　各章ごと等に分担を決めるという手もあるかと思いますが，いかがでしょうか（松倉）

　分担を決めた方がよいと思いますが，確かに負担とのバランスを考慮する必要がありますね（芦村）

　とりあえずは，今の方針で，「今回は何章」というので，全員で見てみて，問題あれば，宿題として担当を決める等の対応を考えてはいかがでしょうか（芦村）

　では，その線で，残り時間でレビューしてみましょう（松倉）

(4) アーキテクチャ文書読み合わせ

　標準番号については、TTCに確認が必要。タイトルは仮題。

　もとの標準との関係、権利等は「参考」に記載する必要がある。（松倉）

　所有権については、W3Cへの確認が必要（芦村）

　普通のHTMLレベルだと，仕様書タイトルの前にエディタノートとして入れますが，TTC標準としてどうするかは要確認（芦村）

　次に，仕様書タイトルやURL等の扱いについては，芦村さんのアドバイスが欲しい（松倉）

　"wot-arch-p7-9.pdf" を参照ください(コメント1-7)（芦村）

　対応したい（松倉）

　次に本文ですが、結構修正が多かったですCR2に合わせて直しています（芦村）

　では，読み合わせしてみたく思います（松倉）

　東村さん，いかがでしょうかお願いします（松倉）

　（　Web of Things (WoT) Thing Description　～　Web of Things (WoT) Scripting API）

　ですます調とだである調の混在している（東村）

　後程修正しましょう（松倉）

　対話アフォーダンスは相互作用アフォーダンス　の方がよいのではないか？（東村）

　相互作用アフォーダンスが良いとおもう　（芦村）

　芦村さんは，結構細かくみてもらっている．皆さんがこれくらいチェックしてくれたらよいですが，具体的にはどうしましょうか（松倉）

　1) 用語定義のブレ，(2) s/[/英語との齟齬，(3) 「て，に，を，は」のブレがあると思います（芦村）

　助詞のレベルや表記ゆれ等は、最終的にTTC事務局で修正されるので、検討会ではそこまで厳格にしなくてもよい認識（松倉）

　今回，主には 1 と 2 の観点でチェックしましたが，それでも30個くらいありました

　皆さんがこのレベルでチェックしてくれるのであれば，分担してチェックした方がよいと思います。あるいは，それが無理ならば，特定メンバーで頑張るしかない（芦村）

　分担を割り振るということであれば、自動的に割り振っちゃってもよいか（松倉）

　やってみないとなんとも言えませんが，軽いレベルではじめられるなら，その方がよい。もし致命的な問題があるようなら，スケジュールをずらすのもありかも（川口）

　語彙の統一を考慮するなら，このレベルで読み込む必要が出てくるのでは？最初からしっかりと取り組んだ方がよい（東村）

　用語は前半をなめると概ねフォローできるのではないか。まずは、３章の用語定義をしっかりすると後が楽になると思う（松倉）

　では，次は，川口さんに読んでいただきましょう（松倉）

　（Web of things (WoT) Security and Privacy Guidelines ...）

　コメントいかがでしょうか（松倉）

　とても長い文があったような（川口）

　まず，意味が取れるかは，いかがでしょうか（松倉）

　この解説文書、本文書での言葉のゆれがある。本文書で統一したい（川口）

WRAP-UP

　読み合わせまではいらないでしょうか．どうでしょう（松倉）

　読んでみるとわかることも多いのでよいとは思う（川口）

　TDのタイムラインはどうか？かなり文書量が多いのが懸念。（川口）

　Architectureの後の想定（松倉）

　ただ，Architectureについては，用語定義が重たくて，その後はスムーズになるのではと思う（芦村）

　分担については、検討の結果以下の通りとする（松倉）

　3章までみんなで対応。以降は以下の通り担当を割り振る。

　　４．１は松倉さん

　　４．２は東村さん担当

　　５章前半は川口さん

　　５章後半は松倉さん

　　６．１～６．３は芦村先生

その他

　次回は、1/24同時刻で実施（松倉）

　Web会議については、問題があることが判明したので調査が必要

　（場合によっては、Zoom会議２回に分割して実施することもありえるかも）

以上